**OB会第11回演奏会の選曲について**

指揮者　山吹達也（H7卒、1T）

時が経つのは早いもので、来年2018年は4年に1度のOB会演奏会の年です。選曲委員会では昨年来、鋭意選曲作業を進めてまいりました。そしてこのほど（ほぼ）決定しましたので、OBのみなさまにお知らせいたします。

オープニング　都ぞ弥生

第1ステージ　無伴奏男声合唱のための小組曲「見よ、かの蒼空に」（曲：信長貴富、短歌：石川啄木）

第2ステージ　（仮称）時代を超えるうた【時代別ステージ】（※全OBが①～③オンステ可）

①（昭和の時代）清水脩の作品から

・男声合唱組曲「三つの俗歌」より「追分」（詞：北原白秋）

・男声合唱組曲「青い照明」より「高原」（詞：宮澤賢治）

②（昭和から平成へ）荻久保和明の作品から

・男声合唱曲「季節へのまなざし」より「のびる」（詞：伊藤海彦）

③（平成の時代）ヴェリヨ・トルミスの作品から

・「大波の魔術」

④（現役ステージ）

＜　休　憩　＞

第3ステージ　男声合唱とピアノのための「さすらう若人の歌」（曲：G.マーラー、編曲：福永陽一郎）

第4ステージ　（仮称）うたいつぐ歌【身近な曲ステージ】

・Grandfather’s Clock（編曲：R.Shaw）

・箱根八里（案＝曲目・編曲検討中）

・雨（曲：多田武彦）

・斎太郎節（編曲：竹花秀明）

アンコール　　この道

ふるさと

基本的に、全ステージ現役と合同ステージです。なお、選曲にあたっては、主に以下の点に配慮しました。

①　演奏会全体の時間がアンコールを含めて2時間に収まること

②　幅広いOBの世代分布・バランスを考えつつ、一つの演奏会として聴衆にも聴きやすいこと

③　要求される技術レベルに偏りがないこと（難しすぎず簡単すぎず）

北大合唱団OB会は3年前に記念すべき第10回演奏会開催し、北大合唱団は100周年を迎えました。第11回演奏会はこれらの歴史を踏まえ、今後の演奏会のプロトタイプとなり得るプログラムを目指して検討されたものです。

OBの皆さんのなかには「この曲が歌いたい！」というご希望をお持ちの方も大勢いらっしゃると思います。限られた練習時間と演奏時間、上記の配慮を踏まえ決定したものですので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。